

# 復旧から災害廃棄物の広域処理



太平洋セメント株式会社

大船渡工場

2014年3月12日

## 2. 東日本大震災時の津波被災状況



2011年3月11日

東日本大震災の津波により工場生産設備の70%が被災  
(津波により激しく噴煙を上げる1号セメント焼成炉)



# 2. 東日本大震災時の津波被災状況



着色部は津波浸水域  
津波最大高さ：約10m

### 3. 大船渡工場の復旧

#### 【災害廃棄物焼却実績(H23.6/22~H24.3/31)】

大船渡市・陸前高田市・山田町他 約100千t(魚類系廃棄物含む)

#### 【全体受入処理計画】

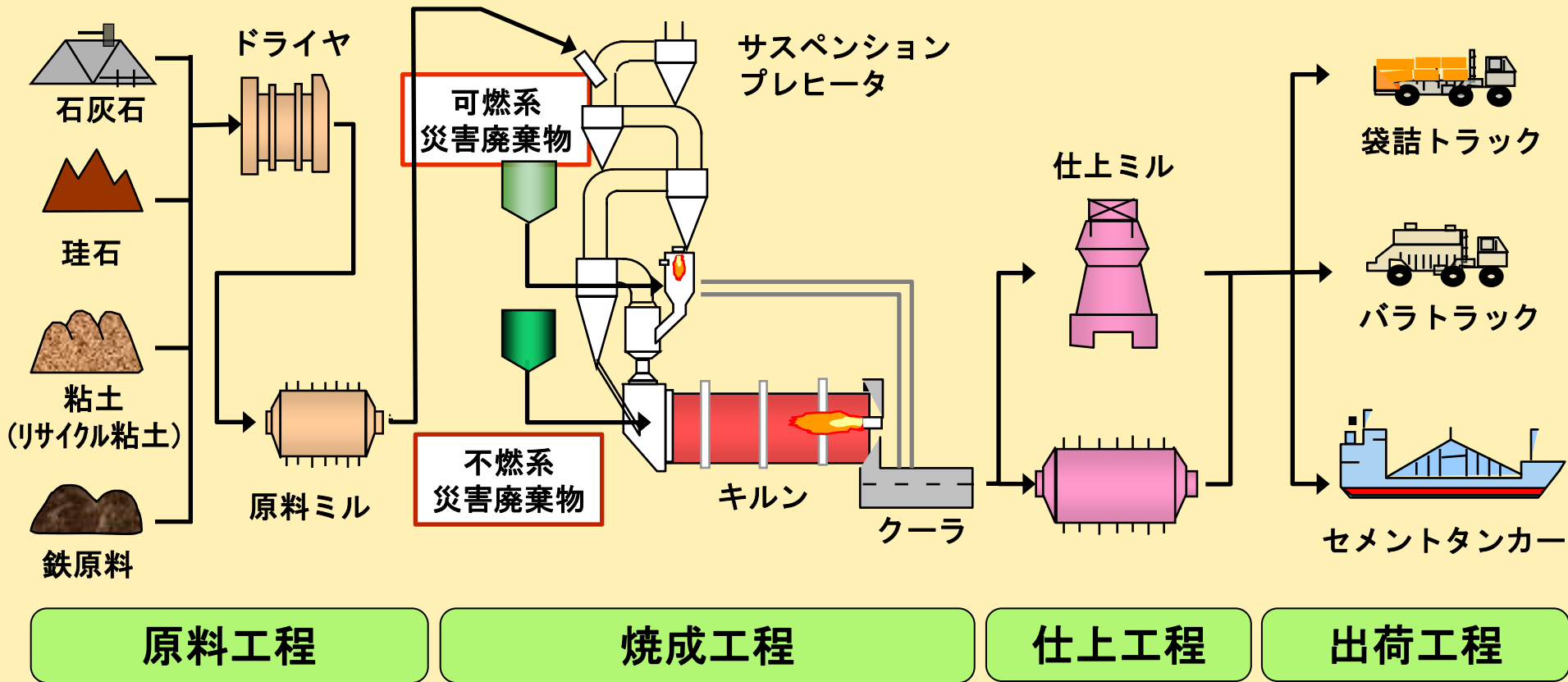
	2011年度		2012年度		2013年度	
	4	10	4	10	4	10
5号キルン	6(焼却)	11 (セメント資源化)				
1号キルン		12 (焼却)	6 (セメント資源化)			
土工資材プラント					12 (土工資材化)	

#### 2014年1月までの受入数量

計画 800千t → 実績見込 983千t (岩手県全体の 18%)

	2011年度	2012年度	2013年度
受入数量(千t)	103	273	608 (~2月実績 540)

# 4. セメント産業の社会的使命



## セメント製造工程フロー



## 4. セメント産業の社会的使命

サスペンション  
プレヒーター  
高さ: 75m



キルン  
直径: 5.8m  
長さ: 105m

大船渡工場 5号ロータリーキルン

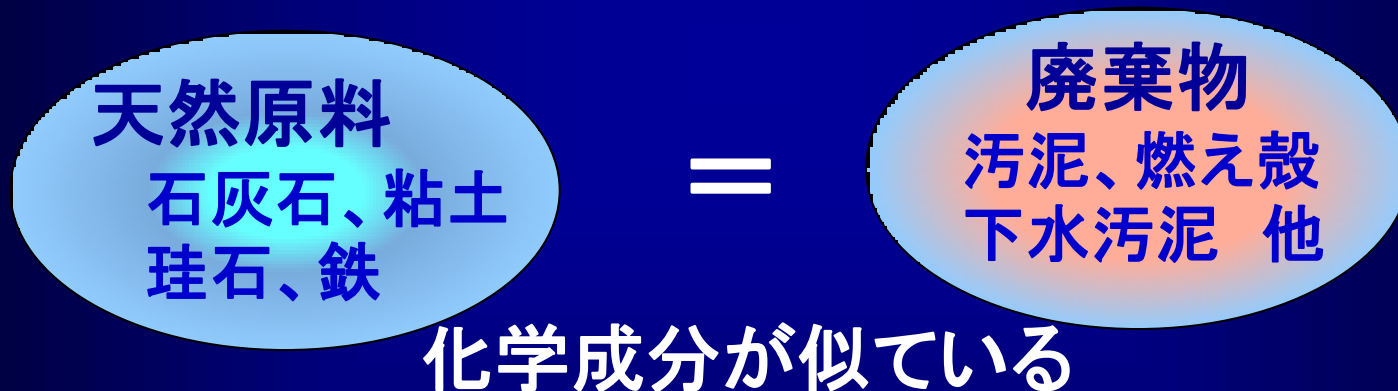
# 4. セメント産業の社会的使命

セメント産業は多くの廃棄物をセメント資源に活用し循環型社会の一翼を担う



セメント産業が廃棄物を大量に、そして安定且つ安心に処理することが可能な理由

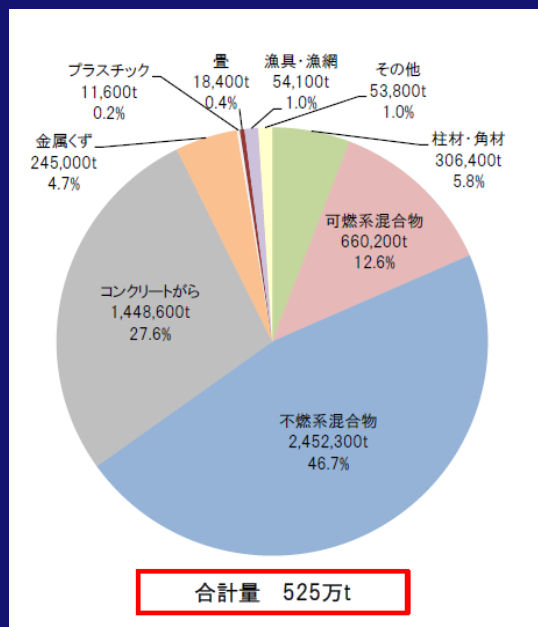
- ① セメントを作るために必要な石灰石や粘土等の**化学成分**が**廃棄物にも含まれている**ので、天然原料の代替として利用することが可能で、**二次廃棄物の発生はゼロ**。



- ② セメント原料とともに**1450°Cの高温**で焼成するため、**ダイオキシン類は殆ど発生しません**。

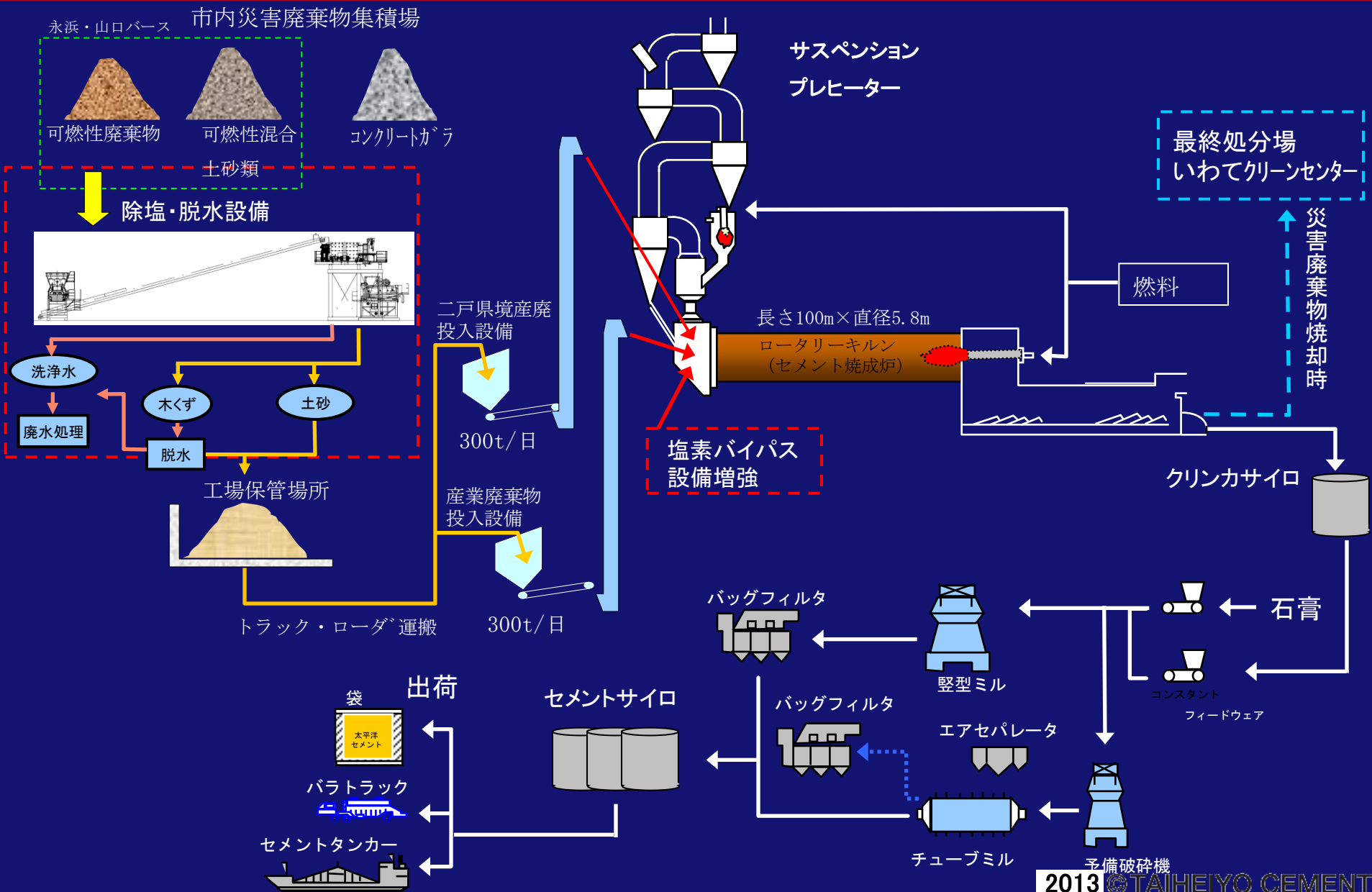


# 4. セメント産業の社会的使命 (岩手県災害廃棄物処理詳細計画)

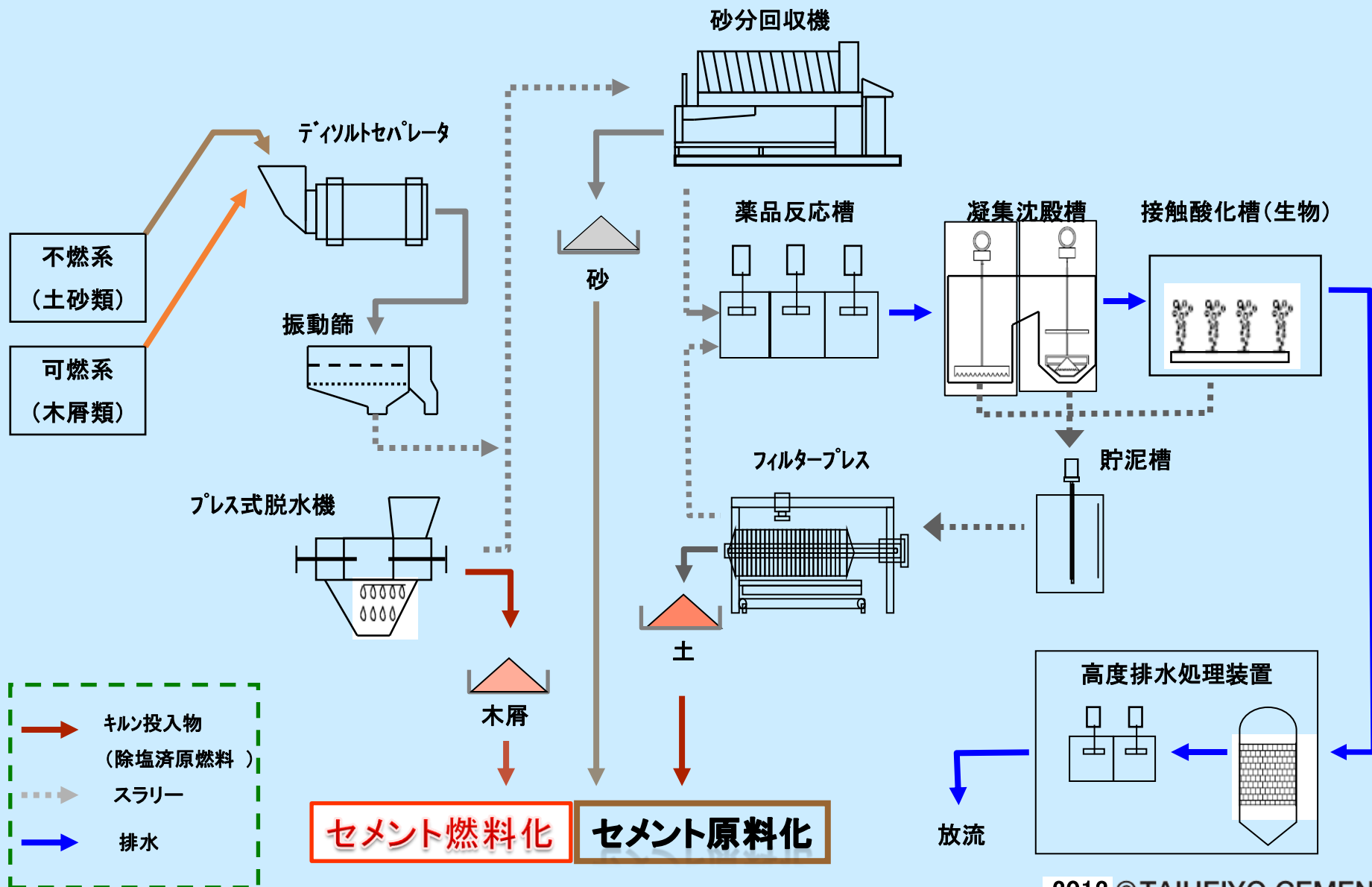


- ① 柱材・可燃系・不燃系混合物が約65%を占める
- ② セメントの原料・燃料代替に活用し、復興資材であるセメントを安定供給し復興事業を支援する
- ③ 被災沿岸地域から船舶を利用し、大量且つ広域輸送が可能である

# 5.災害廃棄物のセメント資源化

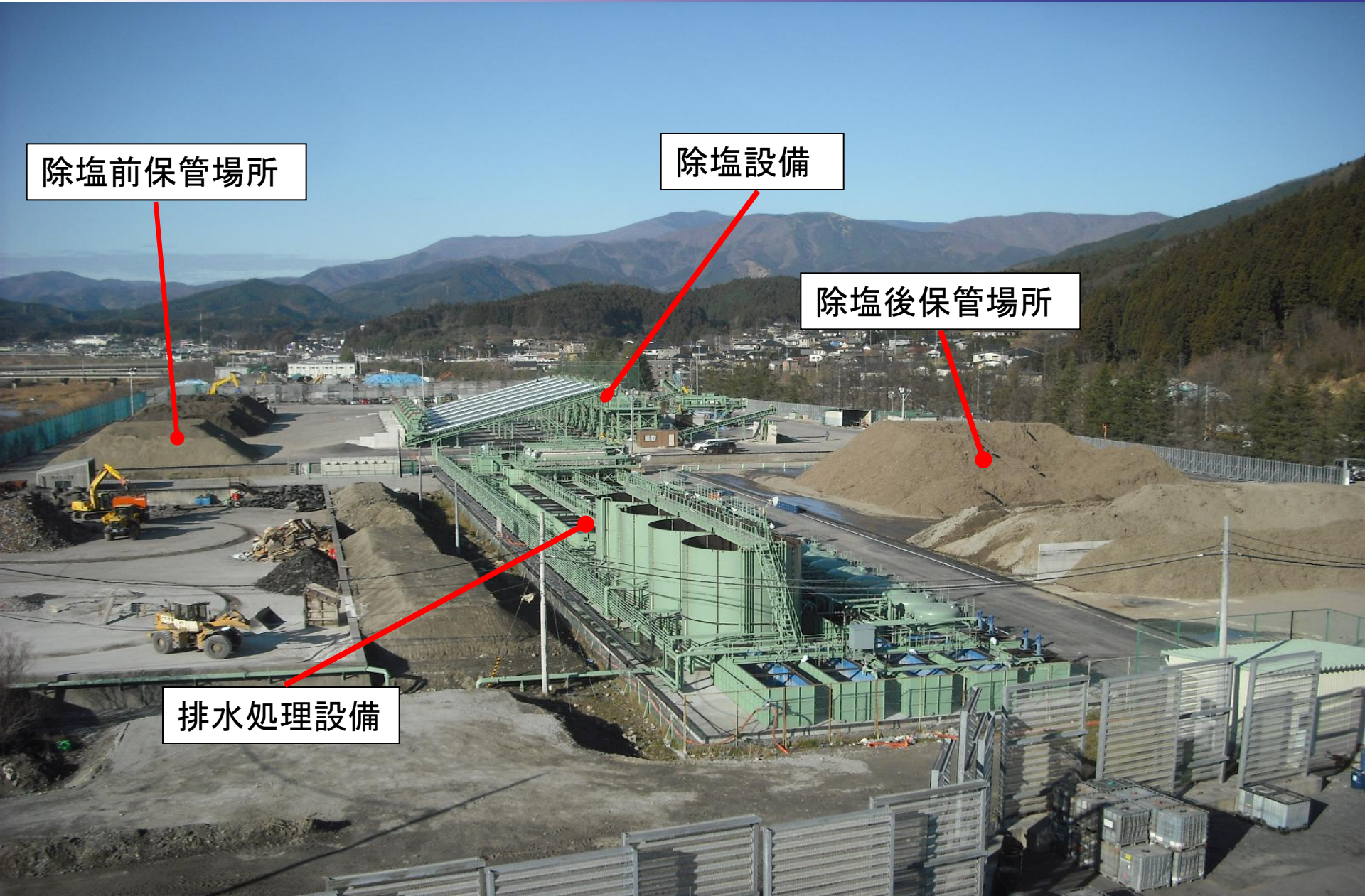


# 5. 災害廃棄物のセメント資源化 (除塩システム)





# 5. 災害廃棄物のセメント資源化 (除塩処理施設)



除塩前保管場所

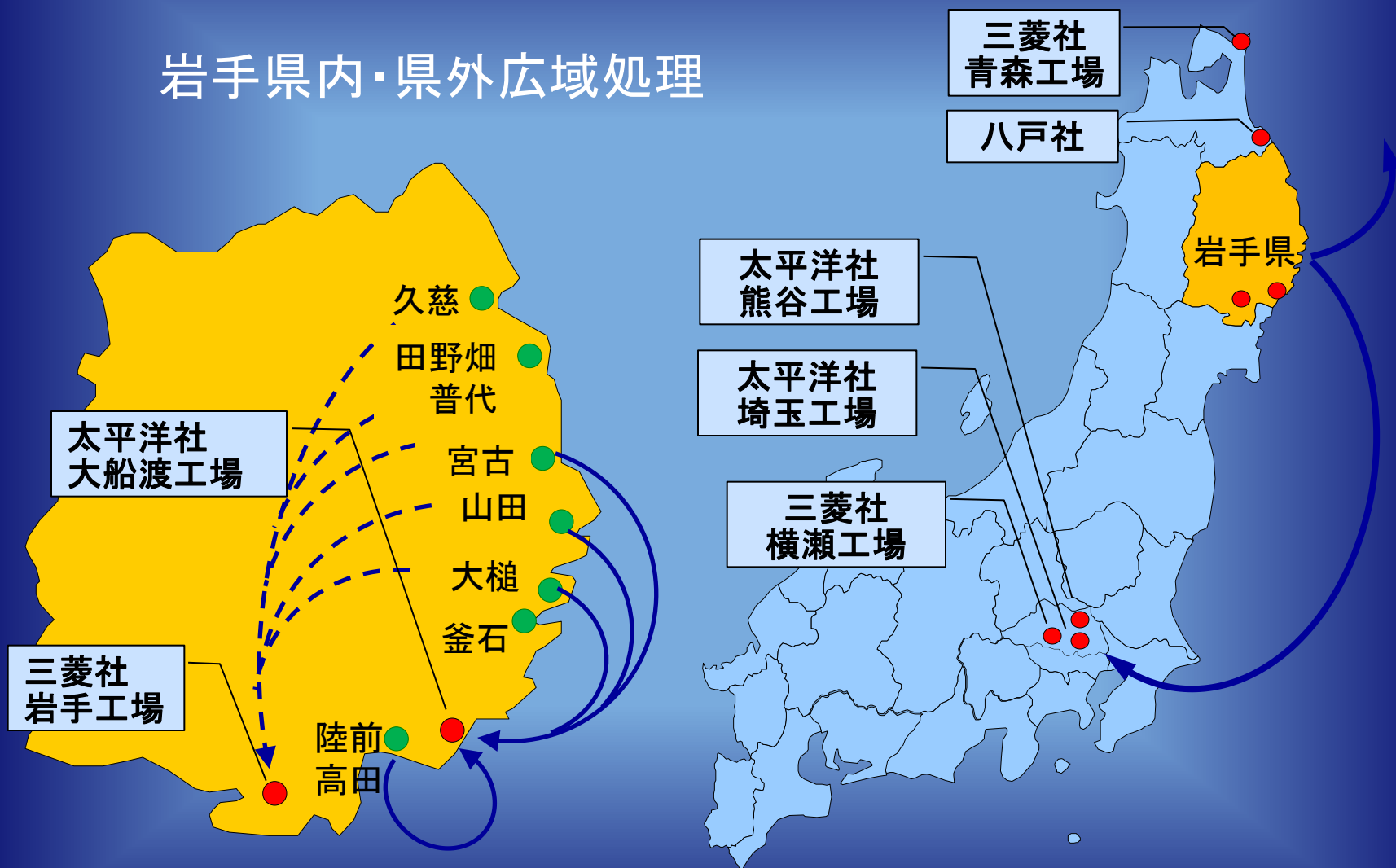
除塩設備

除塩後保管場所

排水処理設備

# 6.セメント工場の災害廃棄物広域処理

## 岩手県内・県外広域処理

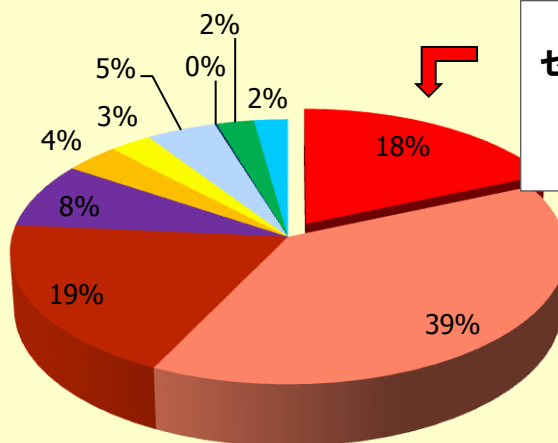


## 6.セメント工場の災害廃棄物広域処理

岩手県内で発生した災害廃棄物 ⇒ 533万トン

セメント工場による災害廃棄物処理量 ⇒ 約98万トン(14年1月末)

岩手県災害廃棄物処理量  
533万トン (2014年1月31日現在)

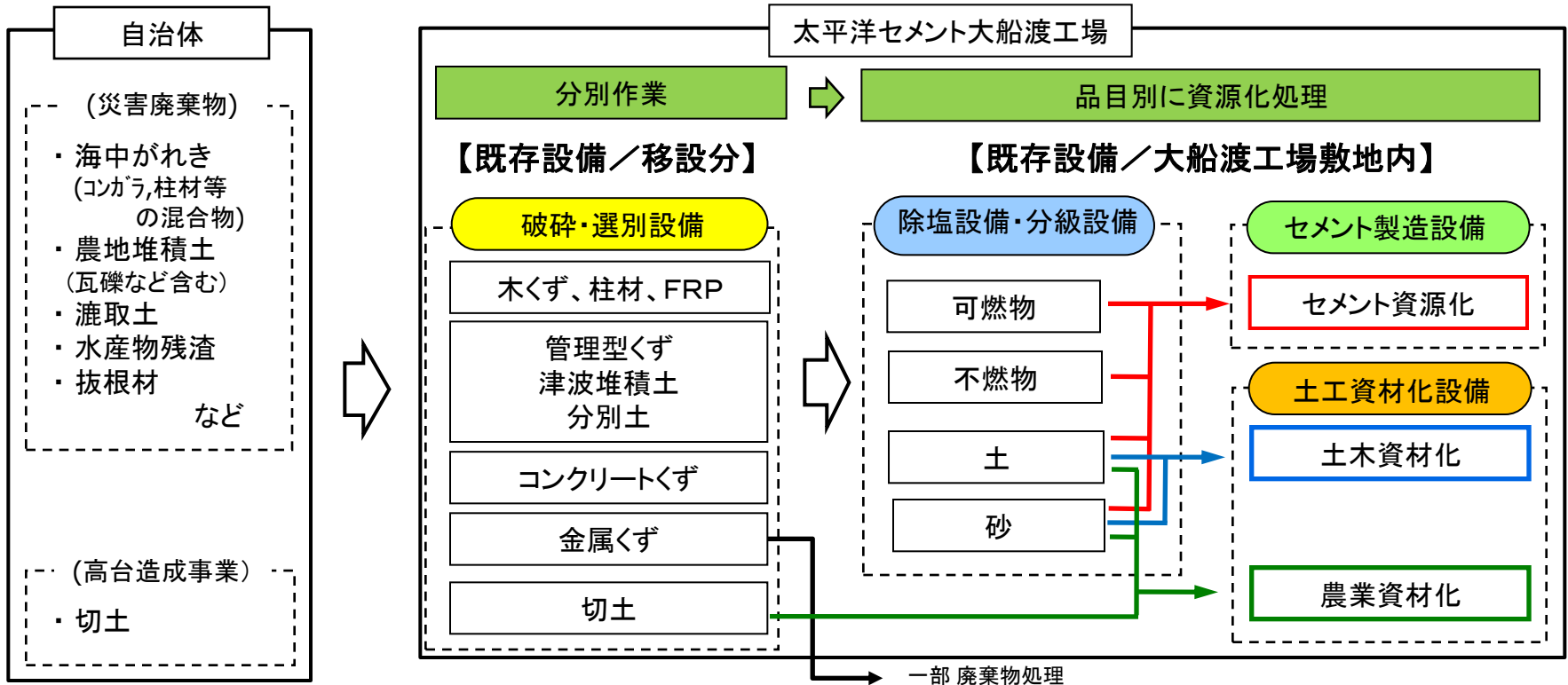


セメント工場の処理 98.3万t  
焼却処理 8.1万t  
セメント資源化 53.6万t

- セメント工場
- 建設資材(コンから)
- 建設資材(分別土A)
- 建設資材(分別土B)
- 焼却(県内)
- 焼却(広域)
- リサイクル(県内)
- リサイクル(広域)
- 最終処分(県内)
- 最終処分(広域)



# 7.大船渡工場の除塩分級設備活用



破碎・選別設備 (永浜・山口地区より移設対応)



除塩設備 (現状維持)

